

ArcGIS

- 1 設備管理、土地の管理、ビッグデータ管理など大規模システムのプラットフォームです
- 2 基本機能タイプから拡張機能タイプまで、高度で高付加価値な空間解析機能を提供します
- 3 個人利用から大規模組織、Webでのコンテンツ共有まで、豊富なソフトウェア製品群を提供します



個人ユーザから大規模組織まで。あらゆるニーズに応える地理情報システム製品ファミリー

「ArcGIS」は、地理情報システム (GIS) を幅広い利用形態にあわせたシステムとして提供するパッケージソフトウェアです。大量な位置情報の管理、ルート検索等の高度な解析やラスタ解析、三次元表示など、さまざまなニーズに合わせてソフトウェア製品群を組み合わせることでシステムを構築できます。

「ArcGIS」は豊富な製品展開が特徴です。空間データの管理・編集など基本機能を備えた「ArcGIS Desktop」。高度な

GIS分析機能などをWebサービスとして共有・公開、一元管理できる「ArcGIS Enterprise」。さらに多機能がセットになったプラットフォーム型クラウドサービス「ArcGIS Online」や、豊富なデータ製品群「ESRIジャパンデータコンテンツ」。個人ユーザから大規模組織、グローバルネットワークまで、さまざまなニーズにあわせて選べるパッケージソフトウェアです。

こんなニーズに対応します



災害発生時の情報を集約・可視化したい

自然災害やパンデミックが発生した際、迅速で的確な意思決定を支援します。



大量の位置情報を一元管理し分析したい

大量の設備・GPSデータなどを一元管理し、空間分析により状況把握できるようにします。



現地調査の情報収集・共有をスマートフォンで行いたい

十分な設備がない現地調査でも、リアルタイムに情報収集・共有が行えます。

ArcGIS を活用したソリューション展開事例

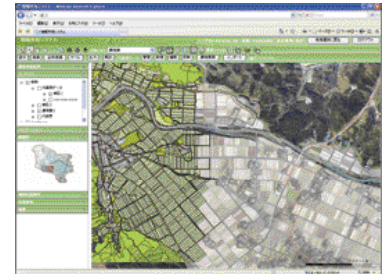
地理情報システム開発

農地情報共有システム

農地情報をGIS上で一元管理。航空写真や背景地図、農地データなどを重ね合わせ、Webで配信・提供。情報の登録・編集や、農地集積のためのシミュレーションが容易にできます。

通信会社向け設備管理システム

通信設備やサービスエリア情報、通信障害などをGIS上で管理し、Webで情報共有。設備の場所、サービスエリア、障害範囲を地図上に表示し、正確な位置を容易に把握できます。



防災ソリューション

災害時情報共有システム

さまざまな情報を地図上に重ね合わせて効果的に可視化し、自然災害やパンデミック発生時の意思決定を支援する COP (Common Operation Picture、状況認識の統一図) を作成。自社設備の被害状況、気象予測情報・推定震度、通行実績情報などのレイヤ群を組み合わせ、さまざまな状況や組織に応じた COP 作成に柔軟に対応します。



走行画像ビューワ

走行画像アーカイブ／走行指定画像提供サービス

道路走行調査を専門に行う会社が提供する走行画像アーカイブや、オーダーメイドの走行画像と地図ビューワをセットで提供するサービスです。道路モニタリング調査や都市計画などへの利用が可能です。



お問い合わせ

株式会社 NTT データ CCS ビジネスソリューション事業本部 社会・科学システム事業部

TEL : 03-5782-9500 (代表) / E-mail : se-sales@hml.nttdata-ccs.co.jp



www.nttdata-ccs.co.jp